

東京都有施設におけるVPP構築事業の先行実証開始について  
～都営住宅から都美術館へ再エネ電力を供給～

2024年11月1日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、東京都と連携し、都営施設におけるVPP<sup>※1</sup>構築事業の先行実証を、本日11月1日から開始します。先行実証として都営千歳台一丁目アパート（4棟）の太陽光発電設備で発電した電力を東京都庭園美術館へ供給し、エリアエネルギーマネジメントシステム<sup>※2</sup>（以下、「AEMS」）の有用性と運用等の確実性を検討します。

当社は、2022年6月24日に東京都と「エネルギー情勢を踏まえた電力の安定供給とカーボンニュートラルに向けた取組の加速に関する連携協定書」<sup>※3、※4</sup>（以下、「連携協定」）を締結し、カーボンニュートラルに向けた取り組みを推進してまいりました。

本事業は、連携協定の一環として、2050年ゼロエミッション東京の実現に向けて、東京都が推進する電力のHTT（「H」減らす・「T」創る・「T」蓄める）の取り組みに則り、太陽光発電設備・蓄電池・AEMS等を導入し、都営施設におけるVPPを構築するものです。<sup>※5</sup>

先行実証では、東京都庭園美術館へ年間約93,000kWh（千歳台一丁目アパートの太陽光発電電力量）の供給を見込み、需給運用を通じたデータ分析等の実証から、今後、事業全体として再エネ電力の利用率向上を目指してまいります。

2025年度以降は、先行実証の施設に加えて、学校、公園、共同住宅といった多様な都営施設に対して、設備導入およびAEMSによるエネルギーの最適運用を行い、施設間で電力を相互融通する取り組みを加速させてまいります。

当社は、2050年カーボンニュートラル実現に向け、自治体等との協働のもと、地域の再生可能エネルギーを最大限活用した自立・分散型エネルギーシステムを実装してまいります。また、地域全体のカーボンニュートラルの推進や防災性能を強化することで、地域課題を解決する新たな価値を提供してまいります。

※1 VPP（バーチャルパワープラント）：太陽光発電設備や蓄電池、電気自動車等の分散型エネルギーリソースを統合的に制御することで、発電所のような電力創出・調整機能が仮想的に構成されたもの

※2 エリアエネルギーマネジメントシステム：エリアにおいて発電した再エネ電力と電気を使用する複数施設のエネルギーの一体運用を行うシステム

※3 [東京都との「エネルギー情勢を踏まえた電力の安定供給とカーボンニュートラルに向けた取組の加速に関する連携協定書」締結について（2022年6月24日お知らせ）](#)

※4 [東京都との「エネルギー情勢を踏まえた電力の安定供給とカーボンニュートラルに向けた取組の加速に関する連携協定書」の改定について（2024年6月26日お知らせ）](#)

※5 [東京都有施設におけるVPPの構築によるカーボンニュートラル実現に向けた事業について～2050年ゼロエミッション東京の実現に貢献します～（2022年12月23日お知らせ）](#)

以上

<参考>

<先行実証施設>

都営千歳台一丁目アパート（4棟）  
東京都庭園美術館



都営千歳台一丁目アパート（発電）

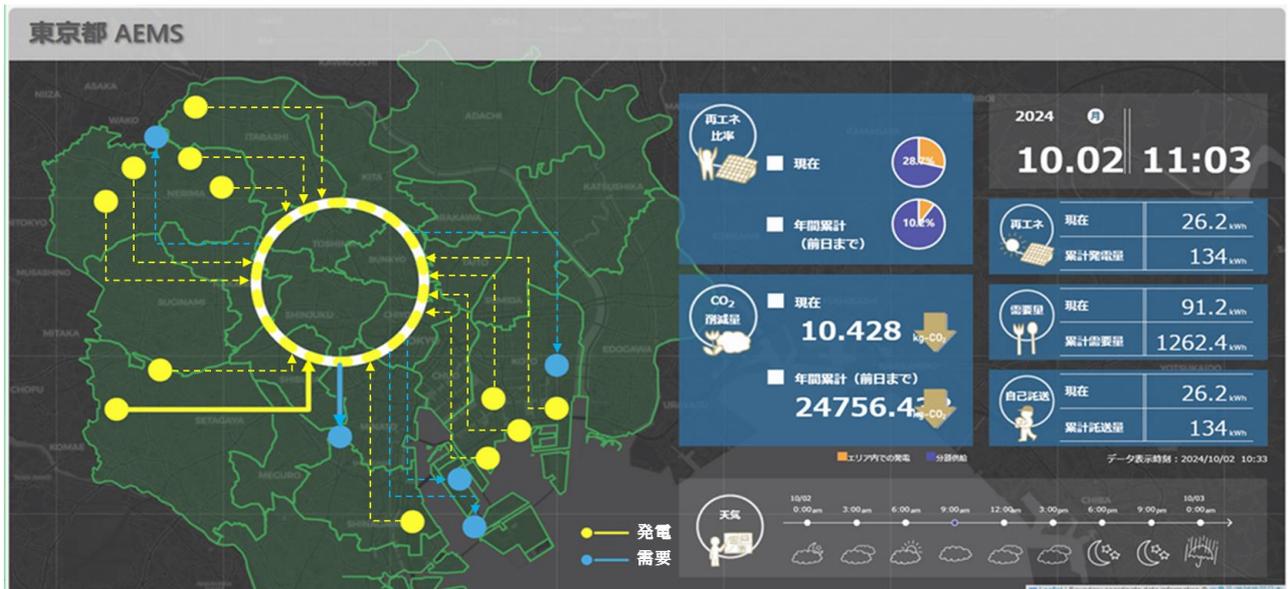


東京都庭園美術館（需要）

<対象施設（予定）> ※先行実証施設を除く

都営旭町二丁目第5アパート（1棟）、都営石神井町二丁目第3アパート（6棟）、都立東部療育センター、光が丘公園、夢の島公園、高潮辰巳管理宿舎、大井ふ頭内用地、10号ふ頭西上屋、10号ふ頭4～6号上屋、辰巳ふ頭内質雑貨上屋、中央防波堤内側ばら物ふ頭上屋、都立田柄高等学校、都立練馬高等学校、都立千歳丘高等学校、都立練馬特別支援学校

<東京都AEMSイメージ>



< 都府施設におけるVPPのイメージ >

